

東京の新たな被害想定（令和4年5月25日公表）について

東京都は、東日本大震災を踏まえ策定した「首都直下地震等による東京の被害想定（平成24年公表）」及び「南海トラフ巨大地震等による東京の被害想定（平成25年公表）」を10年ぶりに見直し、令和4年5月25日に新たな被害想定を公表しました。

本市においても発生が懸念されている、多摩東部直下地震等の首都直下地震に対し、備えをより確かなものとしていくことが必要であり、新たな被害想定結果を踏まえ、地域防災計画の修正を行いました。

新たに公表された被害想定の子な項目については、下表のとおりです。

(参考)

	(令和4年5月公表) 多摩東部直下地震	(平成24年4月公表) 多摩直下地震
主な被害項目	被害想定結果	被害想定結果
震度	市内最大震度6強	市内最大震度6強
建物全壊棟数	445棟	725棟
建物半壊棟数	1,567棟	2,515棟
出火件数	7件	9件
焼失棟数(倒壊建物を含む)	1,565棟	1,974棟
死者	49人	64人
うち要配慮者	31人	—
負傷者	662人	697人
うち重傷者数	99人	94人
避難者	21,091人	30,495人
帰宅困難者	19,806人	22,652人

※図表における被害想定は、小金井市において被害が最も大きいとされる冬の夕方18時、風速8m/秒のケース。

※新たな被害想定におけるその他の地震及び被害項目全体については、【資料3-3 小金井市地域防災計画(修正素案)】第1部第3章を参照ください。なお、新たな被害想定による大きな修正はございません。

※令和4年5月公表の被害想定と平成24年4月公表の被害想定は、前提条件が異なります。